

## 高齢者の交通死亡事故防止に関する決議

悲惨な交通事故の根絶は、市民すべての切実な願いである。

富山県においては、昨年、人身事故件数、負傷者数ともに 15 年連続で減少したところであるが、死者数については 70 人と一昨年を 26 人上回り、うち高齢者の死者が 52 人と全体の 7 割を超えるなど、高齢者死者数の増加がきわめて深刻な状況となっている。

魚津市においては、ここ 10 年間は人身事故件数、負傷者数ともに減少傾向が続いてはいるものの、高齢者が関わる事故件数は依然として横ばい傾向にあり、その割合は 10 年前と比較すると 2 倍以上に伸びている状況である。

超高齢社会の到来というかつて経験したことのない新たな時代を迎え、高齢者が関係する事故のニュースが毎日のように報道されているなか、高齢者の死亡事故防止対策は、喫緊の課題である。

高齢者の交通死亡事故は、高齢者の歩行時にも運転時にも発生しており、市民一人ひとりが、今一度交通安全の基本を再確認することや、高齢者に対する交通安全教室等を通じた交通ルールの普及啓発が重要である。また、高齢者を地域全体で見守る活動者や高齢者にやさしい交通環境づくりが必要である。

よって、本議会は、関係機関と連携し高齢者の交通死亡事故を防止する実効性のある取り組みを早急かつ強力に推進し、安全で安心な魚津市の実現を期するものである。

以上、決議する。

平成 28 年 12 月 22 日

魚津市議会